



いきいき弥小っ子



弥彦小学校ブログ 日々更新中！ <http://yahikosyou.blog-niigata.net> 文責 校長 木嶋 達平

■全校一斉ソーシャルスキル教育で社会性を育てる



子どもたちは、いずれ大人になり、自分でお金を稼ぎ、社会で生きていかなければなりません。しかし、友達のことや悩みが増え、社会で生きていくために大切な人間関係作りが苦手な子どもが増えています。子どもたちの対人関係能力が低下した原因にソーシャルスキル（円滑な人間関係を形成するために必要な「知識」「技能」）の未熟さが指摘されています。昔は、放課後、近所の友達や上級生と遊ぶ中で自然にソーシャルスキルを身に付けました。私も小学

校時代、けんかをしたり、近所の怖いおじいさんに叱られたり、色々な経験をとおして、人との付き合い方を学んだ気がします。

当校では、不登校対策プロジェクト事業の一環として、心理学の理論に基づいた「全校一斉ソーシャルスキル教育」を今年度実施しています。全校集会で模範的な付き合い方を見せ、各クラスでもう一度実施します。全学級が同じ取組を行うことで、全児童のソーシャルスキルのレベルアップを図ります。第1回目は「上手な断り方」を行いました。

○児童に提示した状況

『私は、今日学校から帰ったらお母さんと買い物に行く約束をしています。学校の帰り道、友達が「帰ったらいっしょに遊ぼう」と誘ってきました。』そのときの答え方です。

【オオカミの言い方】(好ましくない)→「むり！だめ！」自分のことだけを大切にしている言い方

【リスの言い方】(好ましくない)→「えっ…あの…、う…うん…いいよ…」相手のことだけを大切にしている言い方。

【わたしの言い方】(好ましい) →「ごめんね。今日はお母さんと買い物に行く約束をしているんだ。だから、遊べないんだ。」自分も相手も大切にしている言い方。

■ご家庭でもやってみよう

1回のソーシャルスキルトレーニングで社会性が身に付くわけではありません。日常生活の中で、定着させることが大切です。ご家庭でも自分も相手も考えた言い方をお子さんがしたら、ぜひ、褒めてあげてください。親「お手伝いして」、子「うん、いいよ。でも、ちょっと待って。この宿題を終わらせてからでいいかな。」。親「良い言い方だね。こちらも気分が良かったよ」

■子どもたちと向き合う時間を作る ～働き方改革 待ったなし～

5月29日の新潟日報の社説に「教員の待遇 負担を減らす改善早急に」が掲載されました。教育現場での長時間労働が横行しており、このままでは、公教育の質が低下し、子どもたちへの影響が生じる懸念がある。教員一人一人の業務負担を減らす抜本的な改善を急ぐ必要があるとの記事です。

文部科学省は2022年度の教員勤務実態調査結果を公表しており、法律で決められている残業時間上限の月45時間（およそ、毎日2時間程度の残業です）を超えることになる学校勤務時間「週50時間以上」の教諭は小学校で64.5%でした。また、過労死ラインとされる月80時間超の残業に相当する「週60時間以上」は、小学校で14.2%でした。残業代はつきません。

当校でも今年度から校時表の工夫、専科教員制の導入、メールによるお便りの配信など様々な工夫を行っています。また、弥

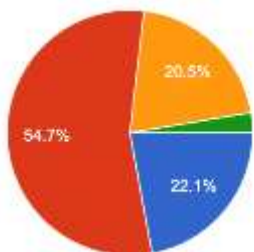
彦村教育委員会の支援やコミュニティ・スクールのサポートもありますが、残念ながら月45時間以内の残業時間を守ることができないのが現状です。

楽しい授業のためには、教員が毎日、元気な顔で子どもたちの前に立つことが、大前提です。また、楽しい分かりやすい授業実施には、授業準備の時間が必要です。児童間のトラブルへの丁寧な対応、ご家庭への連絡にも多くの時間を要します。これらは、大切なことであり省略はできません。

PTA総会でもお話ししましたが、校長の私は、今後とも「子どもたちにとって何が一番大切なのか」の視点で、通知表を含む事務作業、各種行事の精選・簡略化等を進め、時代に合わせた「みんなで創る カラフルな学校」作りを進めていきます。そのためには、保護者の皆様のご理解とご協力が不可欠です。よろしくお願いいたします。

■けんこうウィークへのご協力ありがとうございました

今年は、子どもたち自身が自分の健康を考え、自分自身の生活を見直す（自己管理能力を高める）ことをねらいとして実施しました。夏休みはもうすぐです。この取組をきっかけに、ご家庭でお子さんの生活習慣について改めて話し合っただければと思います。



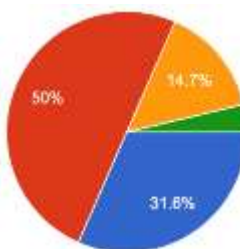
【設問1】

けんこうウィークの取組は、ご家庭でお子さんが、自分自身で生活習慣を整え、健康管理をすることを意識するきっかけになりましたか。

● なった ● まあまあなった ● あまりならなかった ● ならなかった

【自由記述の一部紹介】

- ・今年はメディアだけではなく健康管理なども含まれていてよかったと思います。目標はとても良い目標を掲げることができました。これをきっかけに少し意識が変わるといいなと思います。
- ・ようやく慣れてきた頃に終わってしまうので、もう少しのばしてもよいのではと思います。
- ・メディアルールだけでなく、普段の生活について取り組めたので良かったと思います。
- ・「けんこうウィーク」とするとメディアコントロールの面が希薄になるなと感じました。
- ・自分で計画的に行動するよききっかけになりました。特にゲームは時計を見ながら「さっきは0分やったから次は0分」と計算スキルも身に付きました。



【設問2】

けんこうウィークでは、ご家庭でお子さんとメディアルールを話し合うきっかけになりましたか。

● なった ● まあまあなった ● あまりならなかった ● ならなかった